

SDGs達成に向けた札幌宣言の実行

— ありたい未来社会のための化学工学 —

2023年3月17日(金) 大会3日目午後 11号館5階L1153 (X会場)

今回の年会シンポジウムでは、札幌宣言の共有ビジョンである「EfficiencyからSufficiencyへ、効率性を追い求める社会から充足性を感じられる社会への変革」について、SDGs検討委員会のメンバーで取り組んだ活動の成果をテーマとして取り上げます。活動の成果は、具体的には①EfficiencyとSufficiencyは対立する概念ではなく、Efficiency + Sufficiencyであること。②技術者は「ユーザー（＝社会の構成員）と一緒に社会づくりを進めている」認識が必要であり、③地域毎に何を必要としているか（解決すべき社会課題）を勘案して、それに対して「既存の技術が適合するか」、「適合技術が無いならどんな技術が必要なのか」を考えることが重要であることを基本コンセプトとしてまとめました。得られた基本コンセプトを題材に、他分野の人と議論し意見や考え方を融合して、札幌宣言の共有ビジョンを具現化し「ありたい未来社会のための化学工学」への道を探ることを目的とします。

13:00 開会挨拶 (早大先進理工) (正)野田 優

13:05 依頼講演 「効率性と充足性を共に確保する研究開発を目指して」
(住友化学) ○(法)木村 雅晴・(日化協) (法)饗場 聡・(三井化学) (法)八木 正・
(東大院工) (正)平尾 雅彦・(東北大WPI) (正)阿尻 雅文13:30 招待講演 「カーボンリサイクル政策」
(経済産業省) 羽田 由美子13:55 招待講演 「三井化学の組織横断的オープンラボラトリー活動“そざいの魅カラボ
(MOLp®)”～研究者が自ら世の中に問く熱量コミュニケーション～」
(三井化学) (法)宮下 友孝14:35 展望講演 「石油化学からバイオマス化学へ～多様性の包摂と活用～」
(三菱総研) (正)小宮山 宏

15:00 グループ討議

16:00 サマリー・交流会



札幌宣言はこちら



主催：戦略推進センター SDGs検討委員会

共催：地域連携カーボンニュートラル推進委員会・男女共同参画委員会

協賛：日本化学工業協会・新化学技術推進協会 後援：日本学術会議